

2014年5月

会員の皆さま、爽やかなこの季節如何おすごでしょうか。

緑の濃い山並みからカッコーが鳴き、野原の花々にひらひらと蝶々が飛び交い、街路樹は緑の風を届けてくれています。指笛のメロディーも澄んだ音で聞こえる気がします。

創始者故田村先生が舞台に立って指笛音楽の研究発表会を開いて今年は80周年になり長い歴史が確立されつつあります。もっともっと広げていきましょう。

・・・指笛に出会ってから・・・。

河津 菊枝

声帯ポリープ除去の2回の手術を終えて腹式呼吸が身につき、高音が出なくなっていた私に「指笛音楽」の教室に誘って下さった松本時恵さんには25年近くたった今でも感謝しています。

最近は一ヶ岳在住のジャズピアニスト佐藤マサミチさんと知り合い、長野県や山梨県でのコンサートに呼んでいただき、お返しに埼玉県にある所沢ミュージズで共演し二回を無事に終えました。

来年は1月4日に三回目の予約をしましたが、突然「日本著作権音楽協会」から前の二回分のプログラムと曲名の提出依頼がきた後、二回分のコンサート著作権料を請求され(一万二千元)を支払いました。入場料は当日1,000円(前売り700円)でピアニストやシャンソン歌手などの関係者に配ったので収入は少なかったのですが、著作権料は定員数かける入場料なのです。次回はその事も踏まえて、曲目を考えなければと反省しました。

特にディズニー、ジブリ曲は著作権料が高いとのことなので、演奏曲は皆さんも頭に入れて選ぶことをお勧めします。

田村大三先生生誕100年が過ぎて会員も高齢化しながらも、恵先生をはじめ会員の皆さんが各地で演奏活動をしています。指笛がなかなかメジャーに(口笛、草笛のように)ならないのは何故なのか?私もあと20年、音が出せるのか等考え「どうすれば…」と何時も心に掛かっています。

しかし、とりあえず私は私なりに“ゆず”がストリート時代に作曲した“所沢”を指笛で吹き、歌詞(楽譜はなくギターのコードのみ)のビラを配りながら宣伝し、聴いてくれる人たちに興味をもってもらい指笛音楽を広めていきたいと思えます。

そして、他の管楽器に「負けない音」を作り、自分に合った曲探しを真剣に考えている今日この頃です。

・・・出会いの記憶・・・

間所ひさこ（指笛音楽ファン）

指笛音楽をはじめて知ったのは、2003年の春。数えてみれば、今から十一年前のことでした。その頃のわたしは、夫と死別したばかりで、看病の緊張から解き放たれたものの、心はからっぽ。物書きの仕事は続けていましたが、何をしても楽しめず、まるで糸の切れた凧のようでした。これではいけないと思っていたちょうどその時に、田村先生ご夫妻との出会いがあったのです。

昔、昔、女優の卵だった二十代にうたっていたシャンソンをまた勉強しなおしたい…。何かの折にもらしたそんなつぶやきを、お友達の河津菊枝さんがききつけ、大泉学園の、あの懐かしいお宅に連れていってくれました。

まず圧倒されたのは、大三先生の強烈な個性と存在感！ただその場所にいらっしやるだけで、まわりの者をぐんぐんひけつける魅力は、ご生前の先生を知っておいでの方ならどなたでもお解りでしょう。わたしは歌の指導をお願いに伺ったのですが、そこで聴かせていただいた指笛の調べにすっかりマイってしまいました。

そして静海せんせいの優しさと、凜とした歌のもつ底力！あれは讚美歌でしょうか、「こんな静かな朝に主は生まれた…」聴かせて下さった歌は、たしかこんな歌詞だったと記憶しております。聴いているうちに、勝手に涙が出てきて止まらなくなりました。駆込寺にすぎるような想いだった苦しみは、あの時、癒されたのだと思います。

その年の5月から月に二日ずつ受けたレッスンは、2008年の早春、わたしが脳梗塞で倒れるまで五年間つづきました。レッスンの記録ノートのページには、「自分を限りなく無に保ち、残りをコミュニケーションにあてること」「Aの音を常にのどに置く」など、静海先生からご指導いただいた宝玉の言葉がたくさん記されています。大三先生が天に召され、静海先生が遠方にお引越されたこと、わたしが後遺症で外出範囲が狭まったことなどが重なって、レッスンは長いお休みに入りました。けれども、お二人にお会いした時の強い強い印象は、いつまでも忘れられそうにありません。

文化の秋、また指笛楽友会の研究発表会が巡ってきますね。なんと、今年は八十周年、偉大な創立者の存在感が漂う客席で、皆様のご出演を応援いたします。どんな音色が生まれるのでしょうか。プログラムも楽しみです。

《 間所ひさこさんのプロフィール 》

詩人、童話作家。詩と幼年童話で第一回日本童話会賞を受賞その他、文芸賞、推奨作品賞を受賞。おもな作品『10ぴきのかえる』シリーズ、『ころわん』シリーズなどその他多数。

（間所さんは外出範囲が狭まった現在も練馬文化センターでの発表会には毎回ご来場下さり応援してくれています。）

私と指笛との出会いは今から5年半程遡ります。その頃私はレクリエーションインストラクターの資格を取得するため日本レクリエーション協会の講座を受講中でした。その一環として日レクの主催するいくつかのセッションから一つ選んで体験し、記録を提出するという課題がありました。その時ふと目に止まったのが「初心者のための指笛音楽体験教室」でした。もちろんその頃の私は指笛の何たるかも全く解らず初めて耳にする言葉でしたが、元々音楽には興味があったことと、なんとなく「指笛」という響きから簡単そうなものをイメージして軽い気持ちでこの講座を選びました。うまく特技がひとつ身に付けば何かの余興の時にでも使えるかもしれない、なんていうノリで。ところがどっこい、これが苦難の日々の始まりである事をその時の私は知る由もありません。そして、素晴らしきかな「指笛」との記念すべき出会いであった事も。

指笛体験教室は平成20年12月7日にオリンピック記念青少年センターにて開催されました。受講生20名程に対し、楽友会の錚々たるメンバーにお越し頂き、田村大三先生のお話を含めた指笛の成り立ちから音の出るしくみ等を丁寧に説明して頂きました。さてそれからいざ音出しの実践となりましたが、もうたいへんです。教えて頂いたとおりに試してはみるものの全く音にはならず、喉は乾くは、口の周りは痛くなるは、あげくに酸欠で頭がくらくらしてきます。マンツーマンで本当に熱心に指導して下さいたというのに情けなくもその日は完全に不発で終わった次第です。その後聞かせて頂いた模範演奏は正に圧巻でした。楽器も使わず指一本でこんな素敵な音が出るとは夢にも思いませんでした。どの演奏も皆素晴らしいものでしたが、その日一番印象に残ったのはご夫婦で演奏された有吉様の「森へ行きましょう」です。あんな風に演奏出来たらどんなに良いだろうとポカンと口を開けて雲の上の人を見るように憧れたものです。

さあ、それからが私と人差し指との闘いの始まりです。せっかく少しでもかじったのだからこのまま出来ないのはしゃくだし、努力すればいつかは必ず音が出るのお言葉を信じ修行の日々となりました。お風呂場が比較的音が出やすいとのアドバイスもあり主に入浴タイムが私の練習時間でした。とはいえやはり成功への壁は厚く、もうあきらめようかと思っていた矢先、大三先生宅での二五の会での練習のお誘いを頂きました。初心者に無料で指導して下さいとの事で思い切ってお宅へ伺いました。優雅な静海先生に出迎えられ、地下のレッスン室で大先輩から個別の特訓を受け、そしてある時ついに音が出たのです！あのセッションの日から4か月以上過ぎていたでしょうか。

最近やっと曲らしいものが奏でられるようになり指笛の楽しさを体中で感じています。あの日ふと目に止まった案内がなければ今こうして交流出来ている指笛仲間との出会いも無かったのだと思うととても不思議な感慨があります。私の人生にまた一つ彩りを添えてくれた指笛と、その機会を与えて下さった楽友会の皆様に大感謝です。美容と健康と老化予防のためにも今後とも励んでいきたいと思っております。楽友会メンバーとしては日の浅い私ですが皆様どうぞ宜しくお願いいたします。

・・・・・掲示板・・・・・・

アメリカ在住の松島恵さんが演奏のために5月に来日していました。

5月5日 国際フラワーエッセンスコンファレンス第四夜 癒しの夕べ

5月7日 国境なき料理団々長・本道佳子さんの湯島食堂

5月10日～11日

山名リンパケア研究所リトリート（八ヶ岳ポリアナ）

5月17日～18日

エンジェリック＊リトリート in 長野（【あだむさんち】）

の日程で演奏活動でした。

⇔ 楽友会の今後の日程 ⇐

2014年11月1日（土）9時～17時 指笛音楽研究発表会

6月10日 出演申し込み締め切りです。（はがき差出お忘れなく）

練習日時

①6月21日（土） ②7月26日（土） ③8月24日（日）

④9月27日（土） ⑤10月18日（土）

Uスタジオにてピアノ伴奏（石塚幸子先生）で練習できます。

時間：1時～5時

***練習日は、役員会及びその月の「25の会」を兼ねます。**

♪♪♪編集後記♪♪♪

ご寄稿くださった間所さん、松島さん、河津さん、植松さんに心より感謝申し上げます。

指笛音楽の魅力は聴いた人には必ず伝わると改めて感じたお話をご寄稿いただき、編集に力が入りました。私も4月に老人ホームで演奏する機会があり、3曲程吹きました、吹きだしたとたんに目をつぶっていた車いすのおばあちゃんが身をのりだしてうなずきながら聴いてくれたのは感動でした。口と指から音楽が流れるのが不思議とのこと、やっぱり魅力です。

8月は有賀さんの担当です、会員の皆さまの忌憚のないご意見ご希望をお寄せ下さい